

2023MFJ 全日本スーパーモト選手権開幕戦 スポーツランド SUGO 参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S10open クラス

MERCURYPRODUCTS #9 薄井保彦

4月16日スポーツランド SUGO で開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権開幕戦に参戦しました。

車両は去年に引き続き 2022 年式ハスクバーナ FS450。

今シーズンからは昨年 PRO クラスチャンピオンマシンに装着されていたマフラーと ECU を新たに導入です。



新型のホンダ CRF が速いのでその対策と、今まではレースではパワーよりも乗り易さを重視していましたが、予選タイムが上がればグリッドも上位に付け、結果レースの順位も上がるのでは？との考えからパワーアップパーツの導入を決めました。

15日の前日練習。決勝日天気予報は雨のち晴れ。前日練習日の予報は曇りのち雨。そして前日までの雨の影響で練習日のダートセクションはキャンセル。5本の走行枠がありましたがドライで2本走る中、2本目雨が降り始めスリックでは危ないので途中で終了。

パワーが上がったのでギアが合わなくなりスプロケットを1丁ロングに変更します。

ウェット路面の午後、走る選手は殆ど居ない中、決勝日はウェット路面もあるはずなのでレインタイヤに履

き替えて走行。ウェット路面になってから転倒者続出でしたが無転倒で前日練習日を終わりました。



16日レース当日。朝の段階で雨は上がりましたが路面はウェット。午前中のダートはキャンセルとのアナウンスがあります。

今シーズンから公式練習と予選タイムアタックが同じ走行内に行われ15分の走行の5分が練習走行、残り10分が予選タイムアタックになりました。

路面が乾くか微妙なところ。スリックタイヤを履いてタイヤウォーマーを巻き路面状況を見ながらギリギリまでタイヤ選択悩みます。タイヤ交換に要する時間約15分。メカニックが居る訳では無いので自分での作業だと走行開始25分前には決断したいところ。

25分前の段階で路面はやっとラインが乾き始めたハーフウェット。前のクラスではスリックで出ていったライダーは早速転倒しています。ダート無しでターマックは得意なSUGO。初めの5分の練習時間はまだ濡れていてもタイムアタックの時間になればライン上は乾くと判断しスリックタイヤで行くことに決めます。

練習+タイムアタックの時間になりコースイン。スリックとレインタイヤの選手は半々くらい？路面はまあまあ乾きだして気を付ければ転倒するほど危険な感じはありません。

グリーンフラッグが振られタイムアタックの時間になります。数周後サインボードで2位の表示！やっぱりSUGO 得意です。まあ、後半にタイム出す選手増えるのでさらにプッシュしていきますが。そしてサインボードの表示は4に落ち、さらに5に落ちます。ラスト2周渾身のアタックを試みますが8コーナー後のストレートで低速走行の選手にラインが被ってしまいタイム出ず、ラスト1周で何とか順位を1つ上げ4位で予選終了。

3位の選手とは0.06秒差、5位の選手とは0.02秒差。レインタイヤでタイムを出し切れていない選手もいるので決勝も混戦になりそう。

昼前に決勝ヒート1です。4番手なので2列目アウト側のグリッド。久々に眺めの良い位置。



今までのレースではスタートは1速でしていましたが今回はマフラーとECU変更のパワーアップに伴いシーズンオフに練習していた2速スタートを試みます。スタートはやや出遅れてもシフトアップの必要が無いので

その後の伸びに期待できるのと、ミスが減らせる目的です。

シーズン初め、フライングに注意してレーススタート。

アウト側スタートも影響して 1 コーナーまでに 2 台に抜かれます。インに付ききれずアウトをまくる感じで

抜かれた 1 台はパス。5 番手に付きます。



その後のストレートでもう 1 台抜いて 4 位に回復。しかし 2 周目に先程抜いた選手に抜かれ 5 位に。そこからレースは硬直状態。前を走る鹿野選手を追いかけます。サインボードで後ろとの差は 3 秒。後ろは気にせず前に集中できます。一旦は鹿野選手とも 1 秒ほど離れてしまいましたが周回を重ねるごとに差は縮まりもう少しというところでファイナルラップ表示。すごい無理をすればインを刺せる距離間ですが失敗すれば止まり切れず両者転倒。リスクは避け、立ち上がり重視のラインをとり立ち上がりでパッシングを試みるも結果順位は変わらず 0.29 秒差で 5 位フィニッシュ。

全日本戦では自己最高順位ですが、予選から 1 個落としてさらに競り負けているので喜びよりも悔しさが勝っています。



お昼を挟んで決勝ヒート2。

結局ヒート2もダート無しのフルターマックでのレースになりました。グリッドはヒート1の結果順なので5番グリッド。1つ落ちますがインに近いのでこちらの方が良い気がします。



応援は去年引退してしまった豊田選手。

今回も 2 速にギアを入れてスタート。

スタートはうまくいき鹿野選手を抜くものの呉本選手に抜かれ 5 位。そして鹿野選手にも抜かれ 6 位。さらに 1 台抜かれ 2 周目までに 7 位まで後退。



画像見ると 5 コーナーのイン開けすぎですね。

レースはこのまま 4 台の団子状態。レースが落ち着くと本当に抜き辛い SUGO 。団子状態の中先頭 1 台は徐々に離れ 3 台の集団に。ヒート 1 同様後ろも離れているのでラインを工夫して何度もパッシングを試みますが抜くまでには至らず結局 7 位に順位を落としてレース終了。



結局予選 4 位、ヒート 1 : 5 位、ヒート 2 : 7 位とずるずると順位を落としてしまい内容的には悔しいレースとなっ
てしまいましたが、ポイント的には良い感じで開幕戦終わられました。

次戦は 5 月 21 日 HSR 九州での第 2 戦に参戦予定です。

HSR はハイスピードコースなのでマフラーと ECU 変更でパワーが上がったバイクにも期待です。

今シーズンも全戦参戦予定ですので引き続きサポート、応援よろしくお願ひします。